

会 議 録

1 会議名

平成 24 年度 第 4 回横島地域協議会

2 開催日時

平成 24 年 11 月 20 日（火） 午後 1 時 30 分から

3 開催場所

玉名市横島町公民館 第 3 会議室

4 出席者

委 員：大谷寿委員、米村博之委員、本山重信委員、井口清美委員、境あゆり委員、横田洋子委員、大柿貴宏委員、坂崎郁美委員、田上民康委員、青山正男委員

事務局：北口横島支所長、島崎総務振興課長、塚本総務振興課係長

小山地域振興課長、上野地域振興課審議員、石貫地域振興課係長、入江地域振興課主任

西田教育次長、板倉教育総務課長、堀教育総務課指導主事、西原教育総務課課長補佐、外村教育総務課参事

吉川総務課長、西山総務課審議員、土村総務課係長、近藤総務課参事

欠席者

委 員：本島軍勝委員、中道健一委員、高田優子委員、中山勝利委員、大崎日出樹委員、

5 会議の内容

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 横島支所 支所長挨拶

(4) 議題

①地域公共交通計画について（報告）

②玉名市学校規模・配置適正化基本計画について（報告）

③消防団再編計画について（報告）

④その他

(5) 閉会

6 議事の概略・協議結果

(1) 地域公共交通計画について

地域公共交通計画について担当課から報告された。

(2) 玉名市学校規模・配置適正化基本計画について

玉名市学校規模・配置適正化基本計画について担当課から報告された。

(3) 消防団再編計画について

消防団再編計画について担当課から報告された。

7 会議資料

(1) 会議次第

8 傍聴人の数

0人

9 非公開の理由

—

10 会議録の種類

要点記録

11 発言の内容

(事務局)

皆さん、こんにちは。会議に先立ちまして本日は協議会委員15名のうち10名の出席をいただいておりますので、本日の会議が有効に成立することをご報告申し上げます。

それでは只今から平成24年度第4回横島地域協議会を開会いたします。

大谷会長よりご挨拶をお願いします。

(会長)

【記載省略】

(事務局)

ありがとうございました。次に北口支所長がご挨拶を申し上げます。

(支所長)

【記載省略】

(事務局)

次に本日の会議の会議録署名委員を会長より2名指名していただきます。

(会長)

青山委員と米村委員をお願いします。

(事務局)

それでは、議題には行ってきたいと思います。

議事の進行については会長が議長をつとめることとなっております。よろしくお願ひします。

(会長)

まず、地域公共交通計画についてですが担当課より説明をお願いします。

(地域振興課)

【概要説明】

(会長)

ありがとうございました。いまの説明に対しまして何か質問はありませんか。

(委員)

よくまとめてあると思います。高校とかに通学する利用と高齢者ですね。この地区は車がないと何もできないという話をつい最近聞いたばかりです。遠くまで行くことはない高齢者については周回バスの利用でもいいのかなと思います。

高齢化率もだんだん進んでいくので、車の運転も困難な人もでてきて自分の歩ける範囲しか活動できない人がでてくると思います。そういうなかで今の路線バスは昼間の利用がほとんどないことも知っています。補助金を導入して運行しているのですがこういう話があるということでしょうけど個人的には周回バスと路線バスの組み合わせ、この資料でいくと案1がこの地区にあっているようなのでやってもらえればみんな助かるのかなと思います。天水地区で運用されているみかんタクシーのような運行のニーズがでてくるのではないかと思います。

(委員)

既存の路線バスをできるだけ残しながらデマンド運行エリアを限られた範囲とする案ですね。私もバス停付近に住んでいますがほとんど乗っていません。運転手さんが空で1人のっておられるのが現状かと思います。

(地域振興課)

先ほど説明しましたがデマンド交通といいますのが予約制での運行になりますので空での運行がなくなり効率的な運行になるかと思います。ただ運行の距離であったりとか回数によって費用がかさんできたりという部分もありますのでそこにつきましてはもしデマンドを導入するということになりますとどの範囲でどの程度の手数で運行するのか実際の利用者のニーズを把握しながら進めていかなければならないということもあります。そういったことも地区での意見交換会でのご意見をいただきながらさらには先ほどご意見がありました周回バス・・・こちらにつきましては1日に何本かを周回させるということになりますとまたそちらにも費用が発生する部分もありますし場合によっては空での運行も生じる場合もありますのでそういったものもどちらがいいのかということも検討したうえで最終的にどういう形で導入していくのかを決めていきたいと思います。

(委員)

時間を決めて路線バスに代わってタクシーを回すようなことではないのですか。

(地域振興課)

例えば5人の方が予約でその方たちが何時に向かいをお願いしますという予約がはいた時に行き先の要望があります。基本的なルートを決める場合、どこへでもいける場合といろいろな方法はありますが基本的には家まで向かいに行って行き先まで送り届けるというのがデマンド交通です。周回バスは基本的に停留所を決めてと

ということになりますので自分が行きたいところの近くまではいくけれども実際行きたいところまで直接行けるかどうかという違いがあるかと思います。

(委員)

予約制でないと利用できないということですか。

(地域振興課)

基本的には予約制とはいいますが時間も時間帯を区切って向かいに行って送り届けるという形になりますので、今すぐ来てくれという要望があっても行けない場合があります。

(委員)

タクシーのようにはいかないということですね。

(地域振興課)

そうですね。

(委員)

長洲町の運行状況はどうですか。

(地域振興課)

予約の電話が入りますと地図上に表示されるシステムが組み立てられて、予約が入った順番で向かいに順番、ルートなどの方法もシステム上で設定をすることとなっております。

それによって向かいに行く時間が決定し行き先まで送り届けるということになっております。

そのシステムをいれるということになりますとかなりの費用がかかるということになりますので利用状況とシステムの費用との費用対効果の検討が必要になります。

ただ、みかんタクシーにつきましては基本的なルートが決まっております1日4往復というのも決まっております。その時間帯に乗りますということで予約を受け付けております。

(委員)

地図に表示されるということはインターネットか何かを使用しているのですか。

(地域振興課)

事前に登録をしていただく形になります。登録をしていただくと自動的にシステムのなかに組み込まれて電話があればその方の自宅を表示される形となります。

1時間から2時間単位で回ることが決定をされているので例えば10時の時間帯に5人の方がお願いされたら5人の方を回って拾っていくという形になります。

(委員)

若い人は連絡もすぐできると思いますけど高齢者が・・・行きはいいとして外出先からの帰りがですね。往復の予約が必要ですね。

(地域振興課)

基本的には帰りの時間が決まっている場合には予約していただければと思いますけど、時間帯がはっきりしない場合にはその時間帯をみはからって予約していただくことになるかと思います。

(委員)

システムの経費も含めて地区の意見交換会に案としてだされるのですか。

(地域振興課)

システムを導入したほうがよいというニーズが多ければ費用対効果を検討する必要があると思います。

(委員)

今日の提案というのは？

(地域振興課)

今のところは 3 つの案ということで具体的にどういう形態でデマンドをいれるかということについては皆さんのご意見をいただきながら決めるということになりますのでデマンド交通を導入する方向で検討したいということでご提案しているところです。

(委員)

横島の住民の方はこの 3 つの案のうちのどれかというのは非常に興味があると思います。今後、地域の意見をどういう形で吸い上げられるのか、私個人も今日初めて聞きましたので住民のほとんどがこういうことを検討されているのを知らないと思います。だから住民にどういう形で周知をしていただけるのか、どういう形で地域の意見を吸い上げてまとめていただけるのかをお尋ねしたいと思います。

(地域振興課)

来年の 7 月位になるかと思いますが今回導入を予定しております地区につきましては地域での意見交換会を予定しております。年明け位になるかと思いますが各地域のご利用されている方に各地区毎にお集まりいただきご要望等をお聞きしたいと考えております。

意見交換会の開催にあたりましては地元の区長さんなりに事前に協議をさせていただいて対象者等のご相談をさせていただいて開催させていただきたいと思います。

意見交換会での意見を実際に今回の計画に反映するのかということとその後検討する形になるかと思います。

(委員)

デマンド方式で予約制ということですが、たまたま 1 人しか予約がなかったときの場合の対応もうひとつは横島地区は玉名の中心部からは大分距離があり僻地みたいになるわけですね。例えば孫が休みに来たいが交通の便が悪いためますます縁が遠くなるなどが心配です。祖父のところに遠方の孫が来たいけど祖父は車の免許がないということになった場合などのデメリットの大きい面もあると思います。

ある程度の便数、エリアを設定することを考えてほしいと思います。

(地域振興課)

まず1人しか予約がなかった場合ですが、1人でも予約が入れば運行する形になると思います。

(委員)

予約の事前連絡についてですが何時間前とかの制約はありますか。

(地域振興課)

実際のデマンド交通をどうやって進めるかによって異なると思いますが、他市町で実施されている場合につきましては予約制であれば例えば1時間おきの運行ということで時間を設定されている場合には午前中の10時の便であれば前日までの予約をしていただくとか午後の便についてはその日の午前中までとかそういう形にはなっております。

それともう1件の分につきましては例えば玉名駅からの話になりますがデマンド交通を今回は地区の部分で予定をしておりますが岱明地区と横島地区は優先的に取り組みを始めましょうということで計画をしております。今後、玉名市全体の交通計画につきましては長期的になるかもしれませんがそういったものの検討を進めていく形となりますので時間はかかるかもしれませんが長期間のなかで検討していきたいと考えております。

(委員)

前回のこの話のなかで高校の送迎について各々の家族が送っていかれているという現状がありますので課外、部活とかの背景はあるかとは思いますが実情にあっていないと思います。横島地区の平均乗車率が1人いないということですので1番切りたいところと思うんですがニーズというのはあると思うんですよ。例えば玉名高校付属中に通う生徒は家族が送迎しています。ですから学校とかとの連携をやっていただきたいと思います。部活動とかにあわせるのは難しいと思いますが、せつかく玉名に多くの高校があるわけですからうまいぐあいに連携できるような路線の時間帯を考えてもらえればと思います。せつかく意見交換会を実施されるのであれば高校の保護者とかを対象にさせていただければいい情報が得られるんじゃないかと思います。

(会長)

ほかにありませんか。

(委員)

【なしという声あり】

(会長)

それでは次に玉名市学校規模・配置適正化基本計画について、担当課から説明をお願いします。

(教育総務課)

【概要説明】

(会長)

ありがとうございました。いまの説明に対しまして何か質問はありませんか。

(委員)

1 中学校、1 小学校になるということですが校舎については区域内に新設するのですか。

(教育総務課)

場所については設定しておりません。これについては新しい学校づくり委員会という組織をつくってそこで 1 番最初の決定事項として学校をどこにつくるかということを決めていきたいと考えております。

当然、学校の建物の古い、新しいということもありますし、中学校区に 1 つの小学校ということであれば現在の中学校は当然必要です。中学校区を一緒にすることにして新しい小学校をつくったほうがいいのではないかという話もあります。

実際、玉陵中校区ではそういう話がありますがはっきり決まっておられません。

(委員)

有明中学校区を考えたときに、横島小学校が一番新しいしかし豊水からの通学を考えたときには遠距離になるデメリットもあるかと思えます。最初から校区内に小学校を新設することが理想とは思いますが横島小学校を利用したらどうでしょうか。

(委員)

小学校区が広がった場合、通学距離がかなり遠くなりますよね。

(教育総務課)

通学距離については小学校は概ね 4 km を基準とすると書いてありますが大体大人で 4 5 分位、小学生特に低学年はまだかかると思いますが 4 km とはまだ決定したわけではありません。今後委員会のなかで決定したいと思いますが家の前まで車で向かいに来て学校まで送るということでは子供が全く歩かないということではいけないという話がありましたのでバスターミナルを設けてそこまで歩いていってもらおうと考えております。各学校で 1 時間もかけて通学するということはなかなか今の小学校では考えられないのでそれを含めて 1 時間以内に学校に行けるようにスクールバスの運行をと思っておりますし新しい学校づくり委員会のなかで各学校の話があつて基準を設けてスクールバスの運行を考えております。

(委員)

学年ごとの距離の基準のお考えはありますか。6 年生の 4 km と 1 年生の 4 km は違うと思えます。

(教育総務課)

そういう話になっていくと思います。低学年はどこまで行ってバスに乗るとかです
すね。

(会長)

ほかにありませんか。

(委員)

【なしという声あり】

(会長)

それでは次に消防団再編計画について、担当課から説明をお願いします。

(総務課)

【概要説明】

(会長)

ありがとうございました。いまの説明に対しまして何か質問はありませんか。

(委員)

分団再編のことは団員で充分検討されているので問題ないと思いますが、昼間、
消防団員が地元にはいないことと昼間でも 4 人以下でしか出動できないところが多い
ということは消防団で消火活動は無理ということですね。

(総務課)

こちらについては平成 23 年度に実施したアンケートの結果ですがこういう背景も
ありますので支援団員制度というものがあまして、他市町においては団員のサラ
リーマン化等をふまえて昼間火災に出られない地区につきましてはOBの団員
を新たに支援団員として任命し昼間の火災等における消防力低下の防止をしている
実態があります。

そういうこともふまえて支援団制度の導入を検討しております。

横島地区についてはそこまで必要ではないかなと思いますかどうか。

(横島支所総務振興課)

先日、横島地区の幹部会議を実施して大幅に定員割れをしそうな分団が 1～2 あ
ります。その分団については支援団員制度の運用について分団内で協議し運用する
場合は次回の横島地区幹部会でもう一度協議するという事になっております。

(委員)

報酬の 6,000 円というのは年報酬ですか。

(総務課)

はい。支援団員については火災のみの出動ということにしておりまして、その他
イベント等には出動しません。そのため平団員の 3 分の 1 というところで今度の 12
月議会に提案させていただこうかと考えております。

(委員)

消防団員の年齢制限はあるのですか。

(総務課)

厳密にいきますと 18 歳以上 50 歳未満となっており、ただし市長が特に必要と認める場合はこの限りでないということで 50 歳未満を対象としておりましたけれども今後の 12 月議会にあわせて上限をとりはらうということで計画をしております。実際 50 代の消防団員というのは団長・副団長クラスしかいらっしやらないのですが、岱明地区とか玉名町小学校地区とかの都市部においては 50 歳代の団員も想定されるということです。

また、支援団員につきましてもあまりにも高齢の場合、実際の火災現場向きではないだろうということで 65 歳までということで計画をしております。

(委員)

支援団員の応募者とといいますか見込みはあるのでしょうか。

(総務課)

もともとの契機は、天水地区の赤仁田地区、第 32 分団において分団定数が 19 名となっております。しかし実員数が 9 名しかおられないという状況でこの地区においては O B 団員が操法大会の練習の手伝いをさせていただいているとか、実際火災にも出動していただいているとかの状況です。この辺の地区から O B 団員の運用について要望があったという状況です。

(横島総務振興課)

今の説明の補足になりますが、横島地区は 9 つの分団が 1 分団となり団員の役職が代わりますが、消防団の活動については、9 つの詰所を拠点として活動し積載者の数、ポンプの数等、今までどおり何も変わりませんので地域の方のご理解よろしくをお願いします。

(会長)

ほかにありませんか。

(委員)

【なしという声あり】

(会長)

その他の件ですが事務局から何かありますか。

(事務局)

ありません。

(会長)

私から 1 つ報告です。横島体育館の建設のことですが、横島地区等関係者の署名活動によって市議会では可決をされておりますが、私も委員として参加をしている公共施設適正配置計画検討委員会の意見としては芳しくないようで現場視察をして判断するということになっております。

個人的には、地域の要望、大きなイベントであるいちごマラソン大会の受付等に

利用されており早期に着手してほしいと思いますが・・・。

(委員)

旧3町の体育館の数は、岱明地区が各小学校、中学校に1箇所、町体育館が1箇所、天水地区に関しても各小学校、中学校に1箇所、町体育館が1箇所に対して横島地区は小学校に1箇所と旧横島中学校が使用していた町体育館が1箇所なので体育館施設は決して多くないと思います。また、毎日早朝と夕方から夜は使用して使用頻度も多く問題ないと思います。そのへんを考慮してもらって早期着手をお願いしたいですね。

(委員)

津波等の防災対策で避難場所も含めて外平山に建設はできないでしょうか。

(委員)

スポーツ大会等を実施した場合の利便性なども考えないといけないでしょうからいろんな角度からの検討が必要でしょうね。

(委員)

さっきもあったように地区住民の願いですから早期の建設をお願いしたいですね。

(会長)

ほかにありませんか。

(委員)

【なしという声あり】

(会長)

それでは平成24年度第4回横島地域協議会を閉会します。今日はどうもお疲れ様でした。

12 会議録作成者

玉名市横島支所 総務振興課 係長 塚本昭広

13 会議録署名人署名欄

--	--

14 問合せ先

玉名市横島総合支所総務振興課 TEL：0968-84-3111（直通）